

◎ The story of seaching for "Ako" ◎



平生飢三郎(甲南学園創立者)

KONAN UNIVERSITY

Institute of Human Sciences

企画・制作◎甲南大学 人間科学研究所 Presents

アート・ドキュメンタリー映画

EXPO'70 前衛の記憶

～アコを探して

監督◎
寺嶋真里



甲南大学の授業でEXPO'70を調査研究するプロジェクトが始まった。
そのプロジェクトに参加した甲南大生の「アコ」が、EXPO'70の「アコ」を探す物語。
学生たちの調査・研究の様子を通して、EXPO'70を再検証するアート・ドキュメンタリー作品。



EXPO'70の様子

主演◎甲南大学学生

限定3日間
上映!!

プレア
上映会

2025 大阪関西万博 上映+イベント

2025年7月19日⑤・20日⑥・21日⑦

映画week ミニクロイベント「学びと遊び」

場所◎関西パビリオン/兵庫県ゾーン/メッセホール「ミライナビス」

特別出演◎
横尾忠則



Photo:Hitoshi Iwakiri

◎ The story of seaching for "Ako" ◎

KONAN UNIVERSITY

Institute of Human Sciences

企画・制作◎甲南大学 人間科学研究所 Presents

アート・ドキュメンタリー映画

EXPO'70 前衛の記憶～アコを探して

「アコ」
とは...

1970年の大阪万博(EXPO'70)は前衛アートの祭典でもありました。特に当時の最先端テクノロジー、コンピュータ制御で多数の映写機を一斉稼働させる「マルチスクリーン」が注目を集めました。「せんい館」(横尾忠則設計)の巨大ドームでは、故 松本俊夫監督による映像作品「スペース・プロジェクション・アコ」が上映されました。「アコ」とは、その主人公の女性の名前でした。

本作『EXPO'70 前衛の記憶～アコを探して』は、松本俊夫を師と仰ぐ寺嶋真里監督の新作です。



甲南大学の全学共通科目「芸術史」(2023年度)の受講学生たちが、EXPO'70とそのアート、そしてその時代について自分たちで調査研究し学んでいくドキュメントであり、現代の「アコ」がEXPO'70の「アコ」を探す物語です。学生たちは各自のスマホを映画撮影用カメラとして使います。「マルチカメラ」です。誰もが端末をもち、誰もが情報発信者となり、そのネットワークが増殖していく、そんな現代の最新テクノロジーの在り方の象徴です。また、学生たちがこの機に知れた、EXPO'70で活躍した芸術家や関係者の貴重な証言や資料の数々も収録されています。(2025年の大阪・関西万博でも上映予定です。)

「アコ」が
探す物語。

プレア
上映会

2025 大阪関西万博 上映+イベント

映画week ミニクロイベント「学びと遊び」

場所◎関西パビリオン/兵庫県ゾーン/メッセホール「ミライナビス」

映画上映のみ

7月19日⑤・21日⑦

上映時間◎11:30～13:00

『EXPO'70 前衛の記憶～アコを探して』

『横尾忠則 万博を語る』

15:00～15:30『1日240時間』

映画上映とトークイベント

7月20日⑥

時間◎12:00～15:00

『EXPO'70 前衛の記憶～アコを探して』

『横尾忠則 万博を語る』

『1日240時間』

トークイベント出演◎寺嶋真里/川田都樹子/記井美夕他甲南大学生・卒業生/白井達郎/友田義行/石川路子
(展示ケース監修=井上謙二)



公式HP↑



公式X↑

※関西パビリオン
への入場予約
が必要です。

問合せ◎kawata@konan-u.ac.jp (川田都樹子)



後援◎





監督 寺嶋真里

「Dark Marchen Show」は、第40回ロッテルダム国際映画祭正式招待作品として上映される。

実験映像作家。1985年、京都芸術短期大学（現：京都芸術大学）映像コースに入学し、映像作家・映画監督の松本俊夫らに師事。1989年、同校映像コース専攻科修了。卒業後、同校に勤務。2002年に助教職を辞職。80年代半ばより映像作品の制作を始め、91年に8ミリ作品『緑虫』でイメージフォーラムフエスティバル一般公募部門グランプリを受賞。92年に水戸芸術館で映像インスタレーション作品を発表し、また94年には『女王陛下のポリエステル犬』がドイツ・オーパーハウゼン国際映画祭にて上映された。99年『姫ころがし』で山形国際ドキュメンタリー映画祭に参加。2002年まで京都造形芸術大学にて映像舞台研究室の助教職を務めた後、現在フリーの映像作家として東京を中心に活動が続ける。09年に愛知芸術文化センターのオリジナル映像作品として製作した「アリスが落ちた穴の中 Dark Marchen Show」は、第40回ロッテルダム国際映画祭正式招待作品として上映される。

1970年、

大阪万博の「ゼリオン」で上映された、 松本俊夫監督の映像作品

「スペース・プロジェクト・アコ」とは…

横尾忠則がデザインした「ゼンイン館」のドーム（直径15m、高さ20m）の壁面全体に、やはり横尾の作った巨大な女性の身体パーツのレリーフが流れるような形状で取り付けられ、周囲には4面の大スクリーンがあった。松本俊夫が製作した映像「スペース・プロジェクト・アコ」は、このスクリーンと壁面全体に投影された。10台の大型映写機、10台のスライド、8トラックのシネコーダー、ドーム内の周囲の壁、天井、床面などに埋め込まれた50個以上のスピーカー

主演●甲南大学学生

出演●

甲南大学 学生（2023年度基礎共通教育科目「芸術史」受講生：20名＋α）
メイン出演 ● 記井美夕（フリーランス俳優）、杉本夏穂子、脇岡李江、井上泰地、西條佑真、肥前諒、成田亮平
授業受講生 ● 加奥啓太、平松康生、植田成一、川原憂詩、白石陽翔、小平貴哉、山崎仁、七種美咲、三木麻愛、大原颯真、中谷綺菜、野田美那海、畑来粋
学生アシスタント ● 阪本華奈、渡辺千代
授業担当教員 ● 森茂起、森年恵、吉川孝、友田義行、川田都樹子
ゲスト講師 ● 板倉史明、西田博至、寺嶋真里

学外出演者●

白井達郎、踊るミエ、クリーマーズ、斉藤ネランサイン、ダイヤ・ピアノ・サンタ、マンタム、手塚眞、室井絵里、居田伊佐雄、中島崇、万城目純、財田和典、山本教子、小川隆章、萩原朝美、今井祝雄、他

特別出演●

横尾忠則
ビデオ出演 ● 上村くに子、饗庭千代子、大西和夫、他

声の出演 ● 吉川晶子、舍川和子、南季世子、上杉和洋、阪本華奈、三宅音乃、他

1 70年大阪万博参加芸術家のテレビ出演／提供：今井祝雄（美術家・もと具体美術協会会員） 2 踊るミエ（アーティスト） 3 踊るミエ＋クリーマーズ＋斉藤ネランサイン＋ダイヤ・ピアノ・サンタ 4 70年大阪万博出品作品「3トン石」by今井祝雄 5 せんい館内イメージイラストby三ツ星レストランの残飯（アニメ作家） 6 太陽の塔と岡本太郎イラストby三ツ星レストランの残飯 7 70年大阪万博出品作品『ルネ・マグリットの男』by四谷シモン（人形作家）／所管：大阪大学総合学術博物館 8 70年大阪万博せんい館パンフレット 9 70年大阪万博ひつじ園の様子／提供：舍川和子（元せんい館職員） 10 せんい館スタンプ 11 白井達郎（70年大阪万博の語り部）と甲南大学の学生たち 12 2070年大阪万博せんい館ホステス／提供：吉川晶子（元せんい館ホステス） 13 「万博お祭り広場」／提供：（発行）小学館クリエイティブ【発売】小学館 14 横尾忠則（現代芸術家） 15 「週刊アンポ」No.2表紙by横尾忠則／提供：株式会社 ヨコオズ・サーカス 16 70年大阪万博アメリカ館内部／提供：居田伊佐雄（実験映像作家） 17 西田博至（三宮図書館館長）と甲南大学の学生たち@神戸KIITO「1970大阪万博展覧会」大阪府・アートアンドサイエンス事務局 18 70年大阪万博『スペース・プロジェクト・アコ』by松本俊夫／写真：遠藤正 19 2070年甲南大学の学生たち 20 せんい館イラストby小川隆章（漫画家） 21 松本俊夫（映画監督） 22 30 甲南大学「芸術史」授業風景上 《敬称略》

カー、それぞれがコンピューターでコントロールされながら観客をまぐるしく包み込む形で働きかけたという。照明・音響は天井や床・壁から、左右上下の区別なく観客に挑みかかり、これらの視聴覚を通じて人々は、当時としては全く新しい驚異的な空間を体験したのだった。

主演のアコはオーディションで約300人から選ばれた、1950年生まれ（本名：松岡志記子）だという。女性の映像は、スクリーンの外にも飛び出し、時に彫刻の女体と重なり、あるいは観客にも写り込んだかもしれない。ストーリーもセリフもない、15分間の映像だが、1970年代の青春のイメージや新しい環境のあり方などを、アコという一人の若い女性の春夏秋冬に見立てて表現しようとするものだったと言われている。

楽曲提供●

踊るミエとザ・ジャック・ボッツ、アオヤマトロウ、他

ダンス指導／衣装スタイリング協力●

踊るミエ企画

小道具製作 ● 川久保悠里

撮影 ● 甲南大学「芸術史」受講生、学生スタッフ×《ゲストカメラマン》岩切等、大川見弘

その他撮影協力 ● 坪梨夢、漆谷勝成、畑中麻希、阪本華奈（甲南大学文学部川田ゼミ）／上杉和洋、三宅音乃（甲南大学映画研究会）

せんい館取材協力 ● 吉川晶子、舍川和子、南季世子、阪口京子、望月奈瑠美、他

写真 ● 岩切等、甲南大学「芸術史」受講生、学生アシスタント＋α

アニメーション ● 三ツ星レストランの残飯

編集 ● デイネーター ● 西澤利貴衣

編集 ● チーム Rikie（真田とち、千葉草太、嘉山圭一、妹背光代、稲川道子、寺嶋真里）

デジタルテクニカルアドバイザー ● うずまさきお、宙崎抽太郎

題字／宣伝美術 ● 真家重紀子

【写真／資料提供】

今井祝雄／遠藤正／小川隆章／株式会社手塚プロダクション／株式会社ヨコオズ・サーカス／木の情報発信基地／居田伊佐雄／白井達郎／特定非営利活動法人戦後映像芸術アーカイブ／舍川和子／橋爪節也／吉川晶子 井上譲二

『岡本太郎と太陽の塔』『大阪万博—20世紀が夢見た21世紀』発行：小学館クリエイティブ 発売：小学館

四谷シモン作品「ルネ・マグリットの男」所管：大阪大学総合学術博物館

【ロケ協力】

グランプリーズ 高円寺、大洋レコード、特定非営利活動法人キャズ（CAS）、GALERIE PARIS ひら川 池田駅前店

【その他協力】

甲南大学 文学部、服部正、神戸KIITO「1970大阪万博展覧会」大阪府・アートアンドサイエンス事務局、徳永明美、岩本憲児、貝谷バリエアカデミー、古田彰満（ラジオ関西）、大西健児、村上賢司、村岡由梨、鈴木野々歩、有限会社ネオンテトラ、藤田妙順、その他の皆さん